

名古屋・栄ミナミ地区の
活性化に取り組む

ふかだ まさお
深田 正雄さん(66)



名古屋の繁華街・栄地区の南側を指す通称「栄ミナミ」。「反社会勢力にぼったくり…。かつての暗いイメージを何とかしたかった」。八年前に仲間と立ち上げた「栄ミナミ地域活性化協議会」の会長として、音楽祭を毎年開催している。今年五月に九回目を迎え、街角や公園など五十会場で音楽家が演奏する一大イベントに育てた。本業は栄の老舗料亭の主人。一九七一年、日本ホテル協会の奨学

この人

生として渡米、ホテル経営を学んだ。東京のホテルに勤めた後、家を継ぐため十二年ぶりに名古屋に戻ると、街の風紀は荒れ、住民のつながりは希薄になっていた。

「互いに顔を知らないなんて寂しすぎる」との思いに突き動かされた。音楽祭は仲間の若い企業人が考えたアイデア。「やって何になる」と陰口をたたかれても、周囲を説得して回った。やがて回を重ねるごとに近隣地域を巻き込み、規模が広がってきた。

栄から再開発が進む名古屋駅周辺へと、近年人の流れが移りつつあるとの危機感がある。「歩いて楽しい場所にする仕掛けをまずつくろ。街としての価値を高めていきたい」。音楽祭はその第一歩と考えている。

(安福晋一郎)